



澳國豫筭會計管理法
二



414
A1623
2



第三編

一定、ル事務ニ属スル規則ノ部

概説

前章ニ陳述セシ趣旨、照憑シ各省廳ハ金庫
及ヒ諸局署ノ為メ、ノニテラス會計局及ヒ職
事會計局ノ為メ、各其規則ヲ編製セリ、此等
ノ規則ハ、該局署ノ位置、職務ノ章程及ヒ一
定セル事務等ヲ載セ各金庫及ヒ諸局署ニ於
テ管ス可キ日用帳ノ負數及ヒ種類、該帳ニ附
属ス、キ證、該日用帳ヲ結終シ、確證スルノ

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

法現金額ノ検査法且ノ各会計局並計事務ニ
 管渉スル所ノ方法、リタイデーションニ於テ
 ノ慶置及ヒ其記録法、検査法、簿記法、時々申達
 ス可キ開申、各金庫ノ適否ヲ検査スル
 方法等ヲ揭示ス
 該局ノ纂集ニ於テハ、墾國ノ金庫、會計及ヒ檢
 査ノ梗概ヲ揭示スルノ旨趣ニシテ、取テ詳細
 ヲ記載スルノ點ニ非サルヲ會計事務ノ各
 署局ニ於テ此規則書ノ概畧スハ特別ノ事務
 ノ該局ニ就キテ了知センル欲スル者ハ之ヲ

購求セシムベシ何トナレハ、該規則局ハ政府
 印局ニ於テ之ヲ刊行シ發賣セシムルベシ
 リ、該局ノ前年ヲ參看セヨ、政府印局ニ於
 テ、提出セル規則表ナリ

然、金庫及ヒ検査法ノ修整ヲ充分了得セン
 為メニ、該金庫及ヒ會計局ニ於テ一定セル事
 務ノ要旨ヲ揭示スルヲ緊要タリ
 此ノ要旨ヲ揭示センニハ、大藏帝國ノ文職即チ
 第一地方本金庫、第二税関租税局及ヒ其他收
 納局、第三地方支出指令官ノ會計局及ヒ大藏

九 審
卿附屬ノ職事美計局ニ屬スル規則ヲ取リ之
レガ基本ト為シテ特ニ之ヲ揭示ス是ハ諸會
計局及ヒ會計事務分局等各局中并以上ノ局
務ニ就キテ論述スル所ナリ故ニ之ヲ了知ス
レハ前ニ陳述セシ該會本旨ニ就キテ明瞭
ニ認得スベシ但シ他ノ規則モ其概略ニ於テ
毫モ異ナルト無シト雖モ其特別ナル規則ニ
至リテハ僅ニ會計事務ノ一局或ハ其他ノ一
局ニ屬スルノミナレバナリ

第一章 金庫出納ニ關スル部

地方本金庫ノ事

第四十八

地方本金庫ニ於テ該地管轄廳ノ管内ニ
ル諸官署ノ為ニ出納ノ事務ヲ執行ス

第四十九

地方本金庫ハ該金庫ノ出納ニ關係セシ支出
指令官ノ定負ニ從ヒテ之レカ分課ヲ為ス
左ノ如シ

第一地方管轄廳

第二地方上等裁判所

第三上等檢事廳 囚獄等ニ関スル

第四地方會計官 雜也類ニ於ケル「口封ハア」

澳地利^{地名}地方金庫ヲ除クノ他各地方本

金庫ハ亦本務ノ外ニ委任ヲ受ケテ中心政

府ノ為ノニ其他ノ金庫ノ事務ノ執行ス即

チ公債証券ニ就キテノ支出永久地稅帳抽

籤等ノ費用ノ如キ是ナリ

第五十

地方本金庫ノ各課ハ次ニ記スル所ノ日用帳
ヲ有ス可シ

第一理財法即チ豫美表内ニ登記セン會計

各科目ノ區分ニ從ヒ用ユル日用帳ヲ

名ケテ「タ」日用帳ト云フ此他「エ」

「ハ」^小詳細日用帳ヲ緊要ニシテ且ツ便利

ナリト了知セハ別ニ^小詳細日用帳ヲ有

ス「シ」第六号ノ表ヲ参考ス「シ」

第二理財法内ニ揭示セサル所ノ會計ノ各

科目 國家歳入金ヨリ支出セサル金「四」

ニハ從前ノ日用帳ヲ用ユベシ

第三政府各金庫ノ関ニ執行スル所ノ現金

出納前金ノ遣出錢貨ノ交換及他ノ
委任ヲ受ケテ収入支出セシ金額州廳
ノ為メニ執行スルモノニ非スヲ簿記
セシムルハ「ゴント」コレ「ラレント」日用帳
ヲ有スヘシ

第五十一

地方會計官ノ「エター」日用帳ニハ次ヲ記スル
ルノ詳細日戻帳ヲ添附ス

第一若シ地方本廳ニ於テ直チニ諸稅ヲ徵
收シ或ハ人民ヨリ直稅ヲ收領スヘキ

職掌ヲ有スル時ハ此直稅ノ為メニ詳細
日用帳ヲ有スヘシ

第二身元金及裁判所ノ付托ニテラスシ

テ一時公債ノ部分ト看做ス所ノ附托
金ノ為メニ此詳細日用帳ヲ有スヘシ

第三普通安息金ノ為メニ詳細日用帳ヲ有
スヘシ

此第三ノ詳細日用帳ハ各英利目ヲ分ツテ非
役給金安息金賜金救恤金及教育ニ付テノ
賜金ヲ掲載ス（第九号ノ表ヲ参考スヘシ）

從來ノ武官安息金ノ詳細日用帳（小款）エキスカ
 メリアール及ヒ公債ノ詳細日用帳ハ地方
 會計官ノ管セル「エター」由用帳ニ附添スル
 詳細日用帳トシテ之ヲ使用スルヲ廢止
 セリ而シテ今後此安息金及ヒ公債ノ出納
 ハ毎月ノ惣額ヲ「ゴント、コーレン」テ日用帳
 ニ登記ス可シ（小款）一千八百六十八年第一月十
 四日十六日ノ兩日ニ大藏卿之ヲ命令セリ
 行政上ノ「エター」日用帳ニハ毎帳左ノ詳細日
 用帳ノ添附ス可シ

第一教法金

第二師範學校ノ資金

第三教育金

第四修給金

第五利水金

第六人氏保護金

在職給料額外賜金増給日当給借家料ハ名金
 額毎々詳細日用帳ト看做ス（小款）一キ特列ノ表目
 フ設ケテ之ヲ騰記ス（小款）一シ第十三号ノ表ヲ参
 考セヨ産業稅官祿稅給料及ヒ其他ノ前支出

金ノ減除ハ亦之ヲ同表内ニ揭示ス可シ

第五十二

「エター」日用帳ニハ地方本庫ニ於テ収入支出
スル金額及ヒ國家理財ノ各部ニ登記ス可
キ一定ノ出納金額ヲ時々揭示ス可シ
此収入支出ハ一歳間記号ノ順序ヲ追ヒ支出
ノ本日支出ス可キ旨趣及ヒ支出ヲ指令セシ
人名トテ其支出ニ属スル證層ト共ニ併セテ
之ヲ掲載ス可シ

第五十三

詳細^{記録}日用帳ノ金高及ヒ官祿表ハ毎月末ニ至
リテ収入支出共ニ其金額ヲ「エター」日用帳ニ
謄写ス一シ

官祿支出表ニ記録セシ産業税官祿税或ハ支
出セシ前金ノ為ニ減除セシ金額モ亦毎月
末ニ至リ「エター」日用帳ニ揭示ス可シ唯タ其
金額ノ掲クルノミ

第五十四

他ノ委托ヲ受ケ従前「ウ」ルレ「ケ」日用帳ヲ
以テ管理シ来レル現金ノ送還收納及ヒ一般

収入支出ノ金円ハ今後「エター」日用帳ニ登記
スヘカラス

此等ノ収入支出ハ「アント、エーレンテ」日用帳
ニ就テ之ヲ美計ス可シ

債券簿ヲ管理スル各事務局ハ該簿ニ記スル

ニ前月ノ終リニ結算セシキ其剩餘セル債券

ノ餘金ヲ以テス但シ之ヲ該簿ニ記載セシムニ

ハ巻首ノ紙端ニ謄寫スヘシ

第五十五

各官祿表ハ其箇條ヲ區分シテ之ヲ登記ス可

シ

「コンシク子」シオン「ノ法ヲ以テ此官祿金ヲ

支出スル時」ハ唯ク其金額ノミヲ該簿「即チ

支出表」ニ記載ス可シ但シ此「コンシク子」シ

オン「昏式」ノ該簿ト同一ナルカニ限ルヘシ

第五十六

地方本庫ニ積テハ支出金ノ為メニ出セル証

昏及ヒ収票ハ「ソクイデ」フ「ト」ノ法ニ附シ及ヒ各

其會計局ニ於テ執行セシ「ソクイデー」シオン「レ

記号」ヲモ之ニ附スヘシ但シ其証昏及ヒ収票

ハ従前ノ法ト同一ナル方法ニ従フヘシ此ノ
クイデーションニ属スル次ノ概則ヲ参考ス
ヘシ

此「クイデーション」記号ニ付テ不十分ナル
「ラ」等見セシ証各及「収票或ハ此「クイ
デーション」ヲ執行スル會計局該正算日用帳
ニ記入スルニ就キテ緊要ナル処ノ記号ヲ附
セザル証書及「収票」之ヲ証トシテ出金ス
ヘカラス若シ如此ノ証各ヲ証トシテ支出ヲ
要スルキハ預メ十分ナル手順ヲ経テ之ニ

ヲ執行ス可シ

第五十七

諸日用帳ノ結算ハ次ノ方法ニ従テ執行ス可
シ

第一官祿表ハ其総額ヲ合計スヘシ

第二エタ日用帳ハ一行ニ支出セシ官

祿ノ惣額ヲ記載シ又一行ニハ官祿

前給ノ差引、官祿税及「産業税」ノ総

額ヲ記載スヘシ而テ此「エタ」日用帳

ニ記セル記号ハ必ス之ヲ支出表ニ

記セサルヲ得ス

第三其他事故アルヲ執行セシムルノ差列

ハ其事ノ明細及ヒ其差列ヲ為ス

所ノ人名ヲモ共ニ各日用帳ノ部分

ニ記入スヘシ

第四詳細日用帳ヲ総計シテ其収入支出

ノ金額ヲエタ日用帳ニ騰記スヘシ

第五エタ日用帳ヲ総計シテ収入支出ノ

金額ヲコント、コレンテ日用帳ニ

騰記スヘシ

第五十八

コント、コレンテニ管スル事件ハ収入支出

共ニ各地方ノ支出指令官ヨリ之ヲ命令スヘ

第五十九

コント、コレンテ日用帳ハ地方会計官ノ金

庫ニ於テ之ヲ管理スヘシ

此日用帳ハ該金庫出納ノ金額ヲ揭示スルモ

ノナル故ニ該帳内ニ記スル所ノ箇條即チ左

ノ如シ

第一 會計年度ノ始ニ於テ剩餘セル真貨
及ヒ金券ノ額

第二 借入金送出金交換金等ノ事件ニ就
テ地方本金庫及ヒ其他國家金庫ノ
間ニ交換スル政府ノ金額

第三 他ノ諸金庫或ハ收納局ノ委任ヲ受
テ收入及ヒ出セシ金額ハ該金庫ノ租
税及ヒ借税ノ收入并ニ借税ヨリ支
出セル金額アルヤハ「ポイント」コレ
ンテ「日月帳」ニ記入スヘシ且ツ貿易

會議所ノ費金及ヒ町入費等ヲ國產
税ノ倍^増税ヨリ收入スルヤハ又之ヲ
該帳ニ記入スヘシ

第二條 第三條ニ揭示スル収入
支出ヲ執行スル片直ニ該帳簿ニ記
入シ且該件ニ就テ摘要ナル証昏ヲ
モ又之ニ添附スヘシ

第四 收納期限ノ金額ヲ徵收シ又ハ政府
本金庫ヨリ支出ス可キノ事務ヲ執
行スル為メ各地方本金庫ニ代テ

ラ金庫及ヒ署局ニ於テ出納セラル金
額

此緊要ナル出納ヲ整頓スルニハ地
方會計官ノ會計簿ニ於テ之ヲ執行
ス

第五各「エタ」日用帳ヲ結算セシ結算ノ
負額

第六毎月ニ政府ノ現金及ヒ債券ノ剩餘
セラル額

現金ノ額及ヒ債券ノ公債証各ノ額ノ

總額ヲ指示スル為メ又「コント」

「レント」日用帳ニ次ニ記載セル所
ノ持別ノ関係アル金額ヲ加入ス可

シ
「コント」日用帳ニ從ヒ

其國家會計ノ各部ニ屬スル現金及
ヒ債券ノ剩餘

「口」國家歳入金ヨリ分與セザル現金
或ハ債券ノ政府之ヲ管領スト雖モ其
分額金ニ非ザル宗教金及其他ノ金

額ノ如キヲ謂フノ剩餘額及ヒ該金付托ノ額

是等ノ金額ニ就キテノ明細各ハコトト、コト申シテ用帳ノ終リニ政

府ノ分額金タラザル金額ヲ登記セ

ル各日用帳ノ簿名ヲ記シテ詳カニ

之ヲ登録シ或ハ別ニ部劃ヲ區別ス

ル明細簿ヲ設ケテ之ヲ掲示ス可シ

第六十

各日用帳及ヒ證合、金庫ニ於テ長官ニ負之

ニ捺印セル右該日用帳ヲ結終セシ翌月ノ第

三日迄ニ直チニ之ヲ右會計局ニ交付ス可シ

第六十一

各會計局ヲ經テ知也知各省廳ノ職事會計局

ニ送致ス可キ日用帳左ノ如シ

第一 公債金額

第二 訴訟事務ニ於ケル給料

第三 印紙又ハ印紙簿ノ管理 地方會計官

ノ各會計局ニ爲スル印紙販賣ニ就キ

テノ算計

第四 税関ノレゲスツラシヨシ賞

第五 精酒^税國産税麥酒及ヒ砂糖ノレゲス

ワラシヨシ賞及ヒククロース、タウシ

「クロース」ハ封鎖スルノ義ヲウシ

トハ市府ノ義ニシテ其市府ノ民賞

金ヲ集徴スル為ノ該市府内ニ輸入

スル品物ヨリ該金ヲ徴収スルヲ謂

「内」ニ輸入スル物品ニ就キテ收メ

スル輸入國産税ノレゲスツラシヨ

シ賞

第六 烟草産出高買収高及ヒ外國ニ販賣

セル烟草葉ノ高

第七 郵便傳信及鐵道事務

第八 抽籤

第九 租税規則ノ違反ニ就キ徴収セル四討

金ノ残額此金額ヲ以テ救恤院ヲ設

置セル資本トイフ

第十 永久地稅帳〔英國ノ「フォーム」ス、デーブ

「ク」時該五ノ命ニ由リテ纂輯セシ

簿等ヲ記入セシメ全土ノ測量其時主

ノ如ク収税ノ為ニ土地ヲ測量シ
及ヒ其地稅價ヲ一定セル記録

第十一「センスタームス」騎馬巡查隊

第六十二

己ニ諸日用帳ヲ進達セシ右ニ注視セル該帳
内記録ノ誤謬ハ四リニ自己ノ意ヲ以テ次ノ
日用帳ニ改正スルヲ得ス官長之ヲ指令スル
ニ隨テ右初メテ之ヲ改ムルヲ得ルモノト
リ

該帳簿検査ノ方リヲ發見セル查問ノ箇

條ハ從來會計訴訟政府其會計擔任ノ官吏ヲ乳
問シ其過失該官吏ニ歸スレハ之ヲシテ不足ノ
金額ヲ償却セシムルノ法ナリト稱セル所ノ審
判ニ附セシモノ今後右其地方官ト本省廳間
於テ之ヲ照會シ裁定ス可シ

補ヒ金「會計官吏」ヨリ償却ス可キ金額又ハ「コレ

ゲ」ト「該官吏」ノ負債ハ前頭ノ方法「收納」ヲ命ス

ル前頭ノ方法ニ隨テ之ヲ命セリ

斯ノ如ク補ヒ金ヲ命セラレシ官吏ハ控訴スル
ノ權ヲ有ス又ハ皇帝陛下ニ其過失放赦ノ仁惠

懇願スルヲ得ルナリ

第六十三

地方本金庫ハ諸収期局ヨリ剩餘ノ金額ヲ收領
シテ從來該金庫ニ於テ使
來レル収票ヲ付シ
而シテ該金庫ニ剩餘セル残金該金庫ニ於テ要
セザル錢貨ハ亦之ヲ受領スルヲ命セラレシ
各金庫ニ送致ス可シ

該本金庫ノ定額ニ不足ヲ生シテ之レガ金同ノ
前給ノ要スルキハ地方會計官之ヲ命ス查定シ
テ之ヲ命スルヲ可シ

他ノ諸金庫ニ金錢ヲ送致スルキ常ニ其「アウイ
ニ送致ノ報告」ハ金同ト別送ニシテ直ニ「他ノ
官吏及ヒ局署」ヲ經スレテ此「アウイ」ニ送致ス
ヘシ且ツ金錢収票ノ監督ヲ擔任セル會計局ハ
彼金錢送出ノ報告トナシテ封入シ送ルル所ノ
該會計証各ノ写シ該金額ヲ收領セシ金庫ヨリ
之ヲ收領スルヲ可シ

第六十四

一千八百六十一年及一千八百六十四年ノ政府
公債ノ債券一部分ト又税金ノ収納及ヒ収期金

庫ヨリ地方本金庫ニマテ送致スル利息切手ヲ以テ税金ヲ收入セシキ各税帳内ニ是等ノ金額ヲ記入スルノ緊要ナリ而シテ債券政府公債証券券ハ之ヲ償却セシキ債券簿政府公債証券ヲ記入スル所ノ帳簿ニ其額ヲ記ス可シ
該債券利息切手類ハ之レニ雖刺シ之レガ再出ヲ防カンガ為メ該債券利息切手等一雖以テ穴ヲ穿ツヲ云フ他ニ送致スル迄ハ之ヲ封鎖シテ地方本金庫ニ於テ之ヲ管領セリ

第六十五

地方本金庫ノ現金額ハ次ニ記載セル所ノ方法ニ隨ヒテ毎週間現金検査ノ時ニ方リテ之ヲ検査ス可シ

第一各「エター」日用帳及「エター」小計日用帳ハ其金額ヲ総計ス

第二「ポイント」コレンテ日用帳ハ収入及ヒ支出ヲ區分シテ之ヲ総計ス

第三各其帳簿内ニ記載セル官給ノ為メニ収入支出セル金額ハ報告各中ニ之ヲ総入ス

第四 前ノ結算上ヨリ生出スル政府ノ金額
ハ義助金〔学校病院等ノ扶助シ金〕ノ部
分ニ属セザル金額ヲ騰記セル日用帳
内ニ見出ス可キ現金ノ残額ト及ヒ残
額ヲ檢スル為メニ人基金額ヲ統計ス
ル付托金ヲ騰記セル日用帳内ニ見出
ス可キ現金ノ残額トニ加算ス可シ夫
レ斯ノ如ク之ヲ美計スルニ於テ該金
庫ニ持有スル現金ノ実額ヲ確定スル
ヲ得可シ

第六十六條

金庫検査ノキニ方リテ該金庫ニ支出残餘ノ金
額ナルヲ看出スレハ其残額ト謂フモノハ残
ヘテ帳簿上ニ剩餘セル額ヲ謂フ會計管理ノ為
メ雜収入金トシテ「エタ」日用帳ニ記入スヘシ
或ハ其現金不足ノ分ハ直ニ之ヲ補フ可シ若
シ一時ニ之ヲ補フヲ能ハサルハ當時責任者
ノ姓名ヲ記シ追テ補充スヘキ前金トナシテ「コ
ント、コーレン」テ日用帳ニ記入ス可シ而シテ該
前出金ノ交還ハ此後亦該帳ニ記載スヘシ

第六十七條

債券及ヒ利息切手ニ就キテハ各其會計ト金円
 トノ部分ニ從ヒ一定ノ表目ヲ附ス可シ而シテ
 甲ノ會計金円ノ部ヲ乙部乙部ヲ丙部ニ轉セシ
 等ノ内ニハ總テ該表内ニ其故ヲ記入ス可シ
 〔口〕直税間税ノ収納局又出納局トモ謂
 フノ部譯者云フ各收税金庫及ヒ局署
 ハ直間兩税ノ収納局ナリ而シテ之ヲ
 設立スルハ其金庫局署ノ設立ヲ要ス
 ル各地方ニ於テス而シテ此金庫局署

ノ費用ノ支出及ヒ其支出ノ残贏ヲ收
 入ス可キノ本任タル金庫即チ局署ニ
 送致ス可キニ就キ其金額任拂ヒノ為
 ノニ徴収スル金銭ヲ使用ス故ニ此收
 税金庫ヲ名ケテ總收納金庫ト謂ヒ其
 他ヲ純收納金庫〔純〕收納トハ収納局諸
 費ヲ差引タル残額ノ収納ヲ云フト謂
 フ

第六十八條

此出納局ハ九ニ記載セル諸官局ノ為メニ出納

事務ヲ執行スルモノナリ

第一 出納局ノ管スル州郡地方ノ支出指令官

第二 談出納局ニ委任スル所ノ各省廳事務ノ一部分ヲ執行セシムル為メ本省廳

第六十九條

談出納局ニ於テ管理スヘキ金円及ヒ債券(公債)ノ日用帳尤ノ如シ

第一 総収入支出(付税金ノ内及ヒ税金收納)ヲ拒ミシ者ニ科セシ罰金ノ内ヨリ収

入支出セシモノヲ除クノ外ノ為メニ
用ユル処ノ本日用帳(大帳)第十一号ノ
表ヲ参考スヘシ

第二 各出納局ニ於テ管理セル州郡ノ政府
會計各部ノエター日用帳第七号ノ表
ヲ参考スヘシ

第三 現金出納ニ關スルゴント、コレニテ
日用帳及ヒ各自ノ管理外ニ屬セル州
郡第五十條ノ第三節ヲ参考スヘシノ
為メニ他ヨリ委任ヲ兼ケテ執行セル

収入支出ニ属セル所ノゴントコレ
ンテ日用帳

第四 付托金ノ日用帳

第七十條

本帳即チ大帳ノ下

大帳ニハ時日ノ順次ヲ追テ諸収入支出ヲ登記
ス可シ但シ附托金及ヒ税則ニ違反セシ時ニ科
スル罰金ノ収入支出ハ之ニ記載セズ

此大帳ハ一年間ニ収入支出セル記号ヲ追テ次
第ニ之レニ登記スルモノナリ

左ニ記スル処ノ収入支出ハ別ニ條款ヲ設テ之
ヲ記スルモノニ非ス唯其金額ノミヲ記載セル
モノナリ

第一 口弁スワラシオン、フセ 但シ其種類及
ヒ該口弁スワラシオンニ終始ノ條件ヲ名
指スエタリ日用帳ノ間税ハ其ノ各部ニ
從ヒテ之ヲ區分ス

第二 収入セシ税関及ヒ國産税ノ賠還及ヒ税
関税ノ為メニ前納セル保証金ノ賠還(保
証金トハ一商人ノ納ム一キ税関税ナル

キハ該金ノ内ヨリ之ヲ納メ及品物輸入
毎ニ其税金ヲ上納スルノ方ヲ省ク為メ
預メ之ヲ税関ニ附托セシ金ナリ但シ其
之ヲ賸還スル一就テハ該官吏ヨリ別送
ニ之ヲ上申スルモノナリ

第三貴族年貢償還ノ事ニ付テノ會計一千八

百六十七年大藏卿ノ発令セル第十五号

五十二葉ノ指令文ヲ参考セヨ

第四官祿及ヒ安息金ノ為メニ支出セル金額

是ニ此官祿大帳及ヒ安息金日用帳ニ從

ヒテ差引キセル減額

第七十一條

「エタ」日用帳ノ部

該収納局ノ管スル州郡ニ就キ其一定ノ収入支
出ハ本日用帳ヨリ「エタ」日用帳ニ謄寫シ及ヒ
該本日用帳ニ記入セル煩次ノ記号支出ノ時日
其旨趣支出又ハ収入ノ指令及ヒ証卷ヲ之レ
ニ記入ス可シ但シ其證卷ハ一年間報行スル所
ノ條款内ニ記入ス可キモノトス
「エタ」日用帳及ヒ「エタ」小訖日用帳ヲ要スル

ノ緊要ナル片ハ該小譯日用帳ハ各支出指令官
 二 於テ之ヲ區分シテ管理スヘシ
 諸^レダスト^レレ^レシヨ^レン^レ貴官祿安息金及^レ貴族
 年貢償還金ハ該本日用帳ヨリ^レエ^レタ^レ^レ日用帳ニ
 騰写ス可キ者ニ非ス
^レレ^レダス^レレ^レシヨ^レン^レ貴ノ入金ハ其歳入ノ各種毎
 二 之ヲ區別シテ記入ス可シ且ツ直税ノ金額ヲ
 七 展分シ其收入ハ何年ノ部分ニ属スルト及毎
 月ノ収入額トヲ記載ス可シ
 税金貢納ニ於テ奸曲ヲ為セシ片徴収セル罰金

表ニ記入スル毎箇ノ税金ハ毎月未該簿ヲ完結
 スル片ニ當リ税金ノ種類ニ從ヒテ之ヲ區分シ
 其各部金ハ之ヲ各其税金日用帳ニ記入スヘシ
 但シ某ノ箇條ハ該表ノ何号ニ記シ該日用帳ニ
 ハ何号ニ記セシ^レト^レヲ揭示シ互ニ其見聞ト便ナ
 ラシムルモノナリ
 追補セル印紙増加セル印紙及^レ其直税ハ別
 追加日用帳ヲ製シテ之ヲ記入ス可シ而シテ此
 帳簿ヨリ該金額ノミヲ^レエ^レタ^レト大帳ニ毎月未
 至リ騰写スヘシ

各収税局ニ於テ故ラニ該局ヲ設立シ管セシム
ル所ノ税金日用帳ハ「エタ」日用帳ト看做ス可
シ
官禄前給ノ為メ支給セシ各官禄金及ヒ其差列
金、産業税、官禄税ハ一月ノ惣金額ヲ支出表ヨリ
各「エタ」日用帳又ハ各「エタ」小記日用帳官禄
税及ヒ産業税ニ就キテハ第五十七條ノ附注ヲ
参考セヨニ騰写ス可シ但シ其他ノ差列ハ各箇
條毎ニ之ヲ區分シテ記入ス可シ
諸官禄安息金等ノ算計ニ就キテハ一ノ普通日

用帳アリ但シ其普通日用帳ハ折半以上ノ税金
或ハ諸収税局ニ使用スル所ノモノヲ記載セル
帳簿ナリ（一千八百六十七年第十一月三日大藏
卿之ヲ發令セリ）
但シ官禄金瓊少ナル時ハ直ニ「エタ」日用帳ニ
登記シ其差列ハ欄外ノ側傍ニ草記スヘシ
第七十二條
會計管理ニ付テ「エタ」小記日用帳
部
九ニ揭示スル各小記「エタ」日用帳ハ會計管理

ノ為ノニ使用スルエタリ日用帳ニ添附スヘシ
第一直税ニ就テノ小訳「エタリ」日用帳(該直
税ニハ其实産ニ属スル所有税商業税
及ヒ裁判費ノ入金モ亦該直税ノ一部
分ト為スヘシ)

第二各回税ノ小譯日用帳但シ其回税ノ種
類ニ随ヒテ該帳ノ各區分ス可シ(其回
税ノ煙草税ニ係ルモノハ煙草ノ産出
ト其高業ニ属スルモノトヲ區分ス可
シ)及ヒ直税ノ各謝金「セ」セウ「ト」ハ

其全額ヲ「エタリ」日用帳ニ登記スヘシ
(行政上ニ属スル小譯日用帳ニ付テハ第五十

第七十三條

「コ」ント「コ」ー「レ」ン「テ」日用帳ノ事

「コ」ント「コ」ー「レ」ン「テ」日用帳ニ付テハ各地方ノ支
出指令官其權ヲ有セリ

該日用帳ハ唯會計管理ノ為メニ用ユルモノニ
シテ一年間之ニ登記スル処ノ條件左ノ如シ
(一)條目ヲ設ケテ登記スヘキ算計ノ部分
第一會計年度ノ始メニ政府剩餘金ノ総

額ヲ記スヘシ而シテ其總額ヲ記入
スルハ該帳ノ首メニ於テスヘシ

第二現金ニテ剩餘セル金額ヲ送致(純収
納)金庫ニ送致ス(セシ)ヲ記スヘシ

第三該純収納金庫ヨリ領受セシ金額(某
金庫ニ於テ其満金不足ニシテ該純
収納金庫ヨリ其不足ノ額ヲ領受ス
ル片ニ限ルモノナリ)ヲ記ス可シ

第四金田交換ノ箇條ヲ記スヘシ

第五貿易商議局及ヒ工業商議局ノ授與

金ヲ記スヘシ(該貿易商議局及ヒ工
業商議局ニ資本ヲ給與スル為メニ
其授與スル処ノ金額ハ産業税ニ増
税ヲ賦シテ之ヲ収納ス)

第六池ノ各地方及ヒ池ノ各省廳ノ為メ
ニ委任ヲ受ケテ執行セシ出納ノ丁
ヲ記スヘシ但シ此委任ハ従前ハ「イ
ンレヒヌング」(算計)ノ方法ニ依
テ算計セシモノナリ(該條件中又池
ノ算計局等ノ煙草印紙販賣ノ金額

ヨリ領受セシ額ヲモ之ニ属ス

第七 王宮ノ為メニ出納セシ金額ヲ記ス

ヘシ(一千八百六十八年第一月一日

ヨリ支出セラル金額ハ 王宮ノ為メニ
出納マシモノ

政府本金庫ト之ヲ算計スヘキモノ

ナリ(第九條ヲ參看マヨ)即チ其算計

ノ方法ハ王宮ノ為メニ支出セラル所

ノ金額ヲ實際「カノラル」金庫ニ送致

セシト一般ニ必ス可シ然レテ此「カ

メ」ル金庫ハ直チニ王宮金庫ヨリ

其払ヒ返シヲ為サレメ且ツ「カメ」

ル金庫ト算計スルニ於テ王宮ノ為

メニ支出セシ金額ノ收票ハ該「カメ

」ル金庫ニ送致スヘキモノナリ

第八 救恤院ノ委任ヲ受テ執行セシ出納

(政府ヨリ給與セサル資金)及ヒ地方

本金庫ヨリ委任ヲ受ケテ執行セラル

附托金ノ收入支出ヲ記スヘシ

第九 証卷「リ」リ「ド」ノ法ニ附マサルガ

為メト(未タ支出ノ順次ヲ經サルモ

ノ(贖金及ヒ其他損失金ノ為メニ前
給ヒ及ヒ償補ス可キノ金額ヲ記ス
ヘシ

(口) 谷小譯 日用帳ヨリ合算登記スル丁

第一貴族年貢償還金及ヒ地方儲蓄金ノ
増補(此増補金ハ州税ノ一部外ニシ
テ即チ封縣政治ノ片ヨリ由來セル
奴隸ヲ解放セシムガ為メニ各州ニ於
テ員荷スヘキ税金ノ幾分ヲ増加シ
テ解放ノ費ニ充備セシムヘキ為ニ

徴收スル所ノ諸直税ニ賦カスル増
税ナリ)ヲ記ス可シ

第二第一項ニ陳述セル奴隸解放ニ関係
セル諸金額即チ養老銀債券ノ利子
等ヲ記ス可シ

第三人民ノ為メニ地方税ニ加ヘテ徴收
セル増税ヲ記ス可シ

第四武官金庫及ヒ廢兵教育資本金等ノ
委注ヲ受ケテ出納セシ惣計ヲ記ス
可シ

第五該武官ニ属スル設立所ノ金額ヲ記

ス可シ

第六「カ」ヲ「ル」資本ヨリ支出セシ武官ノ

安息金ヲ記ス可シ

第七職務奉任ニ就キテノ身元金ヲ記ス

可シ

(ハ) 結算ヲ簿記スル方法ノ了

第一各「エ」ヲ「日」用帳ノ結算ヲ記ス可シ

第二礦山開鑿貢納金ノ結算ヲ記ス可シ

第三礦山開鑿事務ニ就テ收入支出セシ

結算額ヲ記ス可シ

第四煙草産出及買上高ノ結算額ヲ記ス

可シ

第五抽籤講ノ決算額ヲ記ス可シ

第六公債等ノ結算額ヲ記ス可シ

總テ政府ニ於テ現ニ剩餘セル所ノ金額

ト及ヒ前頭ノ如ク支出セル所ノ金額ト

ヲ確保セシ后(ニ)ノ部ノ箇條ヲ加フ可シ

(ニ) 各種現金ニ就キテノ明細帳ノ事

第一政府ノ各金額ニ就テノ明細帳ヲ記

ス可シ

第二租税金ニ就キテノ明細昏ヲ記ス可シ

第三付托身元金ノ明細昏ヲ記ス可シ

第四行政官及ヒ築建金ノ内ヨリ付托セ

テレシ明細昏ヲ記ス可シ

第五裁判所付托金及孤兒付托金ニ就キ

テノ明細昏ヲ記ス可シ

第六納税規則ニ違反セル者、為メ徴收

セル罰金ニ就キテノ明細昏ヲ記ス

可シ

第七十四

各附托金日用帳ハ従前ノ通り之ヲ使用スヘシ

附托税金ノ(金田及ヒ証昏)為メニハ唯一ノ通常

附托金日用帳ヲ用ユヘシ

第七拾五

諸帳簿決算ノ事

本日用帳、決算ハ毎日之ヲ算結シ附托金日用

帳ハ毎月之ヲ算結スヘシ

「エタ」日用帳及ヒ「エタ」小譯日用帳ヲ決算ス

ル前豫ノ諸大帳ヲ総計シ且ツ諸官禄表ヲモ総計スヘシ而シテ其各官禄金ノ月額ハ各エタリ日用帳又ハエタリ小譯日用帳ニ騰記スヘシ各日用帳ニ於ケル收入及ヒ支出ノ総額ハ各其條目ヲ分テコントコレンテ日用帳ニ記入スヘシ

然ル後ニコントコレンテ日用帳ヲ総計シ総收入金ノ内ヨリ差引セル費用ノ金額及ヒ貨幣又ハ債券ニ於テ剩餘セル金額ヲモ此ニ記スヘシ且ツ毎月末ニ至テ定額外ノ金額(附托金又ハ

租稅收納ニ付テノ罰金ハ貨幣又ハ債券ヲ以テ之ニ加算スヘシ之ニ依テ金庫ノ総金額ハ自ラ明瞭ナルモノトリ(第七十三條ヲ參考スヘシ)

第七十六

收入支出ヲ實行セシテ簿記スルノ前ニ豫メ此收入支出ヲリクイデーシヨシノ法ニ附シ及ヒ簿記スルハ一般ノ規則ニ循ヒ各其責任ノ局署ニ於テ之ヲ執行スヘシ(附録ヲ參看セヨ)リクイデーシヨシヲ行フ為メニ其リクイデーシヨシ帳簿ヲ二種ニ分ツ左ノ如シ

第一種ノ帳簿ハ官禄領收及諸安息金
ノ為ニ用エルモノニシテ而テ該帳ニ
ハ此等ノ金額ヲ領收スルキ各人員ノ為
メニ分別算計スルニシテ(一千八百六十七年
第十一月三日大藏卿之ヲ發令ス第十五
条ノ表ヲ參考スルニ)

第二種ノ帳簿ハ其他一般支出スルキ金
額ノ為ニ用エルモノナリ

此第二種ノ帳簿ニ付テハ時々發生スル收
入或ハ支出ニ付テ其証昏ヲ所持スルノ緊要ナ

ル時ニ限リ其算計ヲ區別スルモノナリ

此等二種ノリクイデシヨシ帳簿ノ外ニ直税
間税公債ニ係ル支出各種ノ付托金及特別ノ規
則ニ關スル孤児付托金等ノ如キリクイデシ
ヨシ帳簿ニ從來使用シ來レル條々悉ク此法方
ヲ以テ制定ス可シ

第七十七

各地方官ノ毎支出指令ハ預算表内ノ章ト條ト
ヲ揭示シ会計局ニ於テ登記セシ金額ノ明細昏
及各具會計局長官ノ印或ハ長官代理人ノ印ト

ヲ附ス可シ

前：謂フ登記無キノ指令ハ之ヲ証トレテ支出
ス可ラズ但レ之ヲ奏セシ該官ニ返却ス可シ

第七十八

一定ノ支出^事務ヲ交付スル事

一定ノ支出事務ヲ他ノ金庫ニ交付スルハ其
交付ス可キ某ノ負債金額ノ表ヲ編製シ之ヲ送
致スヘシ(第二十号ノ表ヲ參看セヨ)

該負債金額ノ表ニハ支出ノ金田ヲ受領スヘキ
人ノ負荷セル通債又其通債アルカ為メニ支出

スヘキノ金額ヲ停止スヘキノ報告及々已ニ其
支出ヲ停止セシ時日ヲモ之ニ記載スヘシ

若シ此一定支出ノ事務ヲ地方本金庫ニ交付ス
ル片ハ直接ニ此通債金額表ヲ各其會計局ニ送
致スヘシ但シ其支出事務ヲ一ノ出納局ニ交付
スルニハ該通債金額表ハ已ニ其支出ヲ停止セ
ル局署ニアル所ノ該通債ニ屬スル証昏ト共ニ
出納局ニ送致スヘシ

此出納局ニ於テ該通債金額表ヲ受領セシ片ハ
該金額ハ直ニリクイデーレヨシ帳簿ニ登記ス

レ而テ此通債金額マルカ為メ其支出スヘキ金額ノ差引ヲ右通債金額表ニ添付セシムル前算証昏ニ記入スヘシ而テ此前算証昏ハ該通債金額表ヨリ分裂シテ會計局或ハ此通債金額表ヲ製セシ局ニ交還スヘシ

通債金額表ハ其支出事務ヲ受テ継キタル局署ニ於テ初メテ執行セシ中ノ支出昏類ニ共ニ綴リ置クヘシ而レテ其前算証昏ハ支出ヲ停止セシ局ニ於テ末尾ノ支出ニ付テノ別紙ト見做スヘシ其支出事務ヲ交付セシ局ニ於テ之ヲ有ス

モノナリ而テ其支出事務ヲ交付セシ局署ニ於テ記入セラル差引及ヒ償還金ハ該前算証昏ヲ以テ其事務ヲ受テ継キタル局署ヨリ之ヲ記載セシ証憑ヲ得ル中ニ原支出事務局ニ於テハ之ヲ削除スヘシ

第七十九

金庫ノ長官ニ依テ捺印セシ諸日用帳之ニ屬スル証昏トモニ及ヒ捺印レテ已ニ支出セル処ノ官祿表ハ之ヲ決算セシ三月以テ通常會計局ニ直接ニ之ヲ送致スヘシ但シ該帳簿ヲ送致ス

ル件別ニ交付証書二通ヲ添フ其一通ニ受領セ
レドヲ登記シテ之ヲ還付スヘシ

是レト同一ナル方法ニレテ鑛山局収入支出
ノ事務鑛山發見ニ付テ貢納セシ金額及レ鑛
山諸税及レ税金ニ付テ毎年ノ會計ニ屬スル
各日用帳ハ上ノ方法ト同一ニ之ヲ取扱フヘ
シ

唯收入マシ追加印紙税及レ増加印紙税又ハ直
税ニ屬スル追加日用帳及レ罰金税額ニ付テノ
諸大帳及レ日用帳ハ官吏ノ緊要ナル手数ヲ經

ル為メニ各其地方會計官ニ送付スヘシ

第八十

帳簿ノ算計ヲ批議スル事

各地方金庫ニ屬スル第六十二條内ニ登記セル
規則ハ各日用帳各々大帳及レ各算計上ニ生スル
所ノ誤失ニ於テ之ヲ使用スヘキモノナリ
職事會計局ノ批議ニ依テ間税收納金ノ剩額ア
ル中ハ示後ノ納金ニ付テノ收入大帳内ニ之ヲ
算計セマシテ其批議スルノ中直ニ日用帳及レ
各間税ノ日用帳ニ記入スヘシ而シテ其剩額收

入。付テノ收票ハ金庫收票ノ方法ニ循テ該收
納人ニ付與ス。シ(職事會計局ニ於テ認許セル
也ノ海關稅及ヒ國產稅ノ償還金ハ其收領人ヨ
リ口案ヲ以テ其償還ヲ請求スル片ニ其事件ニ
付テ緊要ナル調濟ノ上更ニ他ノ手数ナク該收
領人ニ交付ス。レ

第八十一

金田ヲ送遣シ及ヒ收入ノ金額ヲ前給
スル事

各出納局ニ於テハ其不用ニ属セル剩額ヲ送致

シテ之ヲ受領ス。キノ金庫又ハ局署ノ名ヲ記
録シ置カ。レ

若シ他ノ諸金庫及ヒ諸局署ト一定ノ授受上及

ヒ通^通当ナル收入上ヨリ得ル処ノ金額其支出

充^充一キノ額ニ不足ナル片ニハ其款額ノ処分

ハ地方會計官之ヲ指令ス。レ(其款額ヲ充タス

丁ノ緊要ナル片ハ其事由ヲ詳記シテ之ヲ該官

請求ス。キモノナリ)斯ノ不足ニ付テノ通金

并ニ金田ノ送致ハ金田授受ノ箇條トナシテ之

ヲ取扱ヒ從前ノ通り各其會計ノ部分ニ於テ之

ヲ算計シ或ハ之ヲ支出セレモノトセス
從前ヨリ使用セル雛形ノ証昏ニ徴テテ送致シ
采レル金額ノ收票ハ直ニ之ヲ收領スヘシ
他ノ諸金庫及ヒ局署ニ送金同ヲ送致スル片ニ
ハ之ト同時ニ一定ノ報告(此送致金ノ報告)ヲ直
接ニ該金庫又ハ該局署ニ送付スヘシ又別ニ通
当ナル收票管理ノ權ヲ有スル會計局ニモ此送
致金報告ヲ受領セシ証昏ノ寫ヲ送付スヘシ
第 八 十 二

身元金又ハ地方税金ノ為メ現金收納ノ代リニ
收領セシ処ノ政府債券及ヒ利子切手ハ税関税
又ハ租税大帳内ニ收納済トシテ之ヲ記入シ又
同時ニ己ニ償却セル債券トシテ債券日用帳ニ
之ヲ記入スヘシ
此ノ債券ヲ收領スル処ノ各出納局ハ縦ヒ其債
券ヲ以テ支出スルヲ為ササルモ債券日用帳ヲ
小譯日用帳トシテ之ヲ有スヘシ(一千八百六十
六年第三月四日大藏卿之ヲ發令セリ)

第 八 十 三

檢 査 ノ 事

自局ニ於テ検査ヲ為ス片其現額ハ本日用帳
托金日用帳及ヒ罰金収入税ノ算計中ヨリ之ヲ
結算スヘシ池ノ委員ヨリ金庫ノ検査ヲ為シ及
ヒ金庫ヲ池ニ交付スル片ハ本日用帳附托金
日用帳及ヒ罰金収入税ノ算計且ツエタリ日用
帳エタリ小譯日用帳及ヒコントコロレシテ日
用帳ヲ総テ結算スヘシ

此算計完結ニ付テノ金額ハ即チ左ニ掲
ケ

第一検査ノ当日ニ至ル迄執行セシレシ

スクラレヨシ費ノ入金

第二検査ノ当日至迄支出セシ官祿表

給與金

第三前二項ノ金額及ヒ諸安息金ノ内ヨ

リ償還トレテ差引セシ額ハ各其日
用帳ニ記入ス

此ノ如ク算結セル後又左ニ掲クル方法ニ付ス
ヘシ

第四該各日用帳ハ各之ヲ總計シ其收入

支出ノ額及ヒコントコトレンラ

用帳ノ収入支出ノ額ハ別格ノ報告
各々掲載スレ

第五 此別格ナル報告各中ノ金額ヲ統計
シテ而シテ此統計額ヲ觀テ金庫ノ
剩餘金ヲ檢出スレ但シ其剩餘金
ハ本日用帳ト同一ナルヲ要スレ
右ノ剩餘ニ附托金日用帳及ヒ討金
收納簿ノ現金剩餘ニ亦加算スレ
此方法ニ因テ現金ノ統計ヲ檢出ス
ルモナリ

此剩餘ノ員額ニ雜收入金トシテ會
計管理ニ屬セルエタリ日用帳ニ記
入スレ但シ實際現金ノ額此檢査
ノ中ニ剩ル一キ現金額ヨリ不足ス
ル中ハ該金庫ニ於テ直ニ其額ヲ償
フレ若レ即時ニ之ヲ償フ能サル
中ハ「コントコロ」ニテ日用帳ニ其
責任者ノ姓名ヲ記レ追テ其人ノ償
フヘキ前借金トシテ之ヲ記載シ其
前借金ヲ完納シ了サテ後之レ日

帳
= 記載スレ

丹
精
省

